

LESSON 6
REMAKE LID
CARTONNAGE

TASSEL & CARTONNAGE
EXCLAMATION MARK OF HAPPINESS

Introduction

日常使いのものを、リメイクして楽しむこともカルトナージュの魅力の一つです。

本書は、既存の食品包装プラスチック容器を利用して、布製の蓋にカルトナージュでリメイクする講座テキストです。

本来なら、使用後は使い捨てられているかもしれないプラスチック容器ですが、プラスチック製の蓋の部分を土台にして、カルトナージュで仕立て直すと、ちょっとした工夫でひと味違う容器に変わります。

サークル形の容器の蓋を用いることで、カルトンのラウンドや、フィックストップ技術をテーマにしています。

カルトナージュでは、基本にして実践的なリメイク技ですが、カルトナージュの技術を習得できるよう策定しています。

【講座の主な内容】

- ・ プラ容器（蓋）を土台にしたカルトナージュ

高さ約15cm、直径約10cmの円筒形プラ容器の蓋(1mmカルトン・グリを使用)

- ・ 蓋の天面をはめ込むフィックストップの手法

(注意点)

本レッスンで再利用する容器を元に製作説明をしています。任意のサイズに変更しても製作できるため、製図および製作における寸法指定は省いていますのでご容赦下さい。



食品容器は市販の「海苔容器」を用いています

リメイクリッドの材料

【食品プラ容器】

直径10cm 高さ15cm の円筒容器（プラスチック製スクリュウキャップ）



注意）容器に被せて作るため使用できない形があります。

【台 紙】 グレー台紙／1mm 厚

【布 地】 蓋に使用する布地／綿ローン（参考）

ミシンキルト芯（薄手）：2 枚

【巻き縁】 天蓋を側面にフィックスさせるための巻き縁

綿糸（タコ糸）（直径 0.5mm ～ 1 mm 程度）：40cm…1 本



【その他】

- ・水貼りテープ：ホワイト：38mm 幅のもの
- ・カルトナージュ用基本道具一式（詳細省略）
- ・コンパスカッター
- ・テープメジャー
- ・クリップ

フィックス蓋

Fix lid

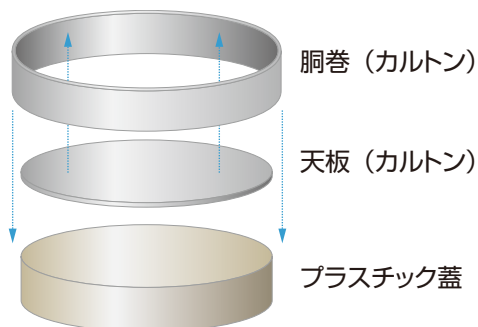
円形のプラ蓋を土台にして、蓋の外側からカルトナージュでカバーするリメイク方法です。容器に台紙を巻き付けて成形しますが、台紙の表裏と紙目を正しく使うことが重要です。

■ リッドの設計・組み立て

蓋の構造は、天板の上から胴巻きを被せていますので、プラ蓋の直径から円周寸法を算出して紙取りします。

断面構造は、実際に組み立てたときの接合状態を示しています。天面にキルト芯を入れて膨らませています。胴巻きは、胴の小口に巻き縁（縁止め）を作り、その突起に天板を内側からはめ込む仕組みです。

【リメイクリッド組み立て図】



【リメイクリッド断面図】

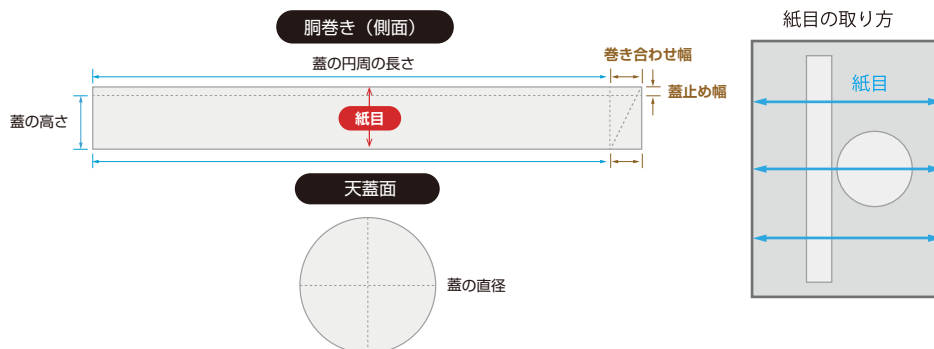


■ 紙取り作業

蓋の紙取りは、天蓋面（上面）と胴巻き（側面）です。特に側面の曲げ方は、台紙の表面を外側にして、裏面を内側に曲げて輪にすることです。紙目が流れる方向に対して、直角に胴卷きを配置させて紙取りします。



プラ蓋の直径の計測と蓋周囲をテープメジャーで計測



紙取りした蓋の天面と側面

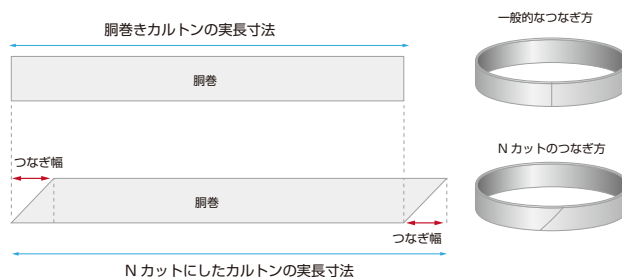
胴巻き

Round method

胴巻きの成形は、繋目を任意の長さで斜めにカットして繋ぐことで、繋ぎ目が縦に浮いてこない手法を用います。通常の縦の繋ぎ方ではないため、台紙の切り方が異なります。

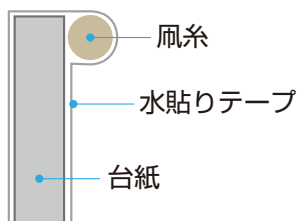
■ 胴巻きのつなぎ方・巻き方の概要

繋目には“つなぎ幅”をつくって接合します。つなぎ幅は任意の長さで斜めにカットしますが、紙取りの段階では、一端だけカットし、巻き合わせて位置を決め、もう一方を斜めカットする手順です。



■ 巻き縁の作り方

フィックス蓋は、蓋の天板を側面の内側にはめ込むため、天板と側面は、別個に化粧して組み合わせる化粧組み付けを用います。天面のフィックスは、側面上辺の廻り縁に、天板が側面上辺で止まるよう、側面の口辺（内側）に突起のような形状（巻き縁）を作ります。突起の材料は、通常は細く切ったカルトンを内周に貼るのですが、本書では「風糸」を用いました。



胴巻きの作り方

Side winding



①
ブラ蓋に巻き始めを固定する



②
一周巻いて繋ぎ合わせる位置を描き入れる



③
描き入れた位置に、+ 1 mm 追加してカットする（布地の厚みによる広がり）

巻き縁の作り方

Roll edge



側面内側の上辺に沿って、風糸を真っ直ぐ接着していく



水貼りテープで風糸を包んで巻き縁をつくり固定する



包んだ巻き縁で天蓋が止まるよう筋入れをする



斜めにカットした台紙の端を繋ぎ合わせる



プラ蓋の上からはめ込んで形を整える（布地を巻き込む遊びがあること）

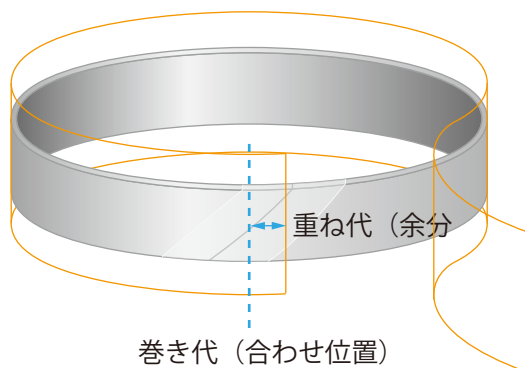


成形が完了した銅巻き（側面）

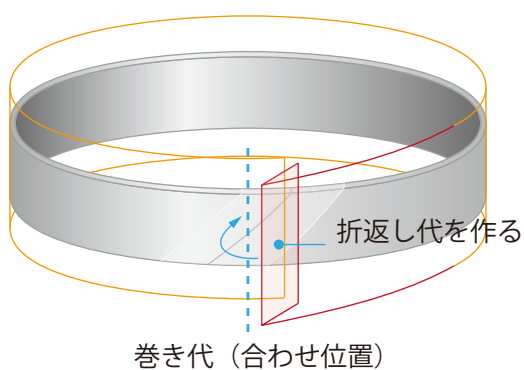
側面の包み方

Round trim

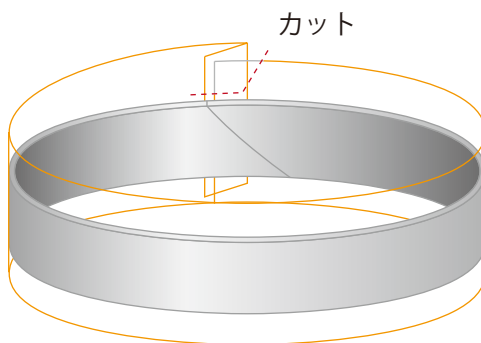
①



②

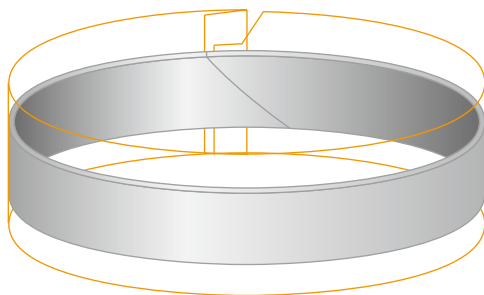


③



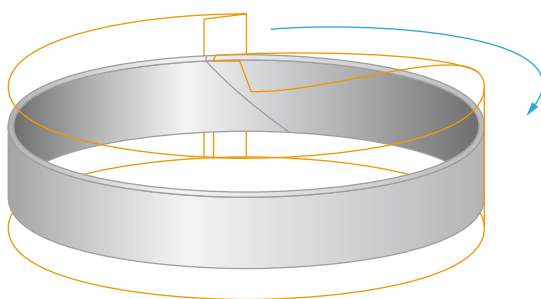
④

巻き始め（下身頃）



⑤

折り込み



胴巻きを包んだ状態のもの（内側は包まない）

天蓋の包み方

Lid top method



布地の上にキルト芯の大・小を重ねる



キルト芯の上に天蓋の台紙を置いて、巻き代を歯車裁ちする



台紙を押さえながら巻き代を貼っていく

組み立て

Assembly



ブラ蓋に接着剤を塗って包んだ天蓋を貼る（天面の形状によって異なる）



側面の内側に接着剤を塗って、ブラ蓋の上からはめ込む



側面の巻き縁を天面で止めてフィックスさせる（完成）

REMAKE LID LESSON 6

リメイクリッド・カルトナージュ

2025 年 11 月 27 日 第 3 版 (PDF 版)

2015 年 8 月 26 日 第 2 版 (Web 版)

2010 年 9 月 19 日 第 1 版 (Web 版)

著 者 濱本修徳

発 行 Tassel & Cartonnage

<https://www.passamano.jp>

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について、著者、発行者の許諾を得ずに、無断で複写、複製することは禁じられています。

TASSEL & CARTONNAGE

Copyright © 2010-2025 Passamano All rights reserved.

Published by PASSAMANO.JP

Text, Illustration, Photography, Design, Original Japanese edited by N. Hamamoto

First edition 2010.9.19

Printed in Japan